

2020年12月1日  
北近畿経済新聞(3面)に掲載されました

人生の  
「ねじ」を巻く  
77の教え

日東精工株式会社



31 一生に一度の技  
仕事に役立たない  
ものはない

「選手には、一生に一度使うか使わないかの技こそ磨けと教えている」  
これは日本サッカーの歴史に貢献された長沼健さんが熟をこめて語られた言葉です。

実際の試合で使うケースはめったにない、にもかかわらず、その技をマスターするためには猛烈な訓練を繰り返す。そうした訓練が勝敗の決め手になることがあるのだと、オーバーヘッドキックのことを例に話されたのです。この技は、地面に背を向けた状態で空中にあるボールを頭より高い位置でキックするものです。キックした後は地面に背中から、とすとんと落ちることになるキツイ技です。



同じことは、私たちの仕事にも当てはまるように思います。たとえば、営業部門の人が、不良債権が発生してからその処理方法を勉強しても間に合いません。めったに発生しないこと、でしょうが、いざというときのために、そうした関連の知識にも精通しておく。そのことが、あなたの存在を、会社になくしてはならないものとするのです。

当社の社員テキスト三部作の一つ『経営幹部のガイドライン』に、技術者にも必要な財務知識が掲載されているのも同様の理由からです。

※「人生の「ねじ」を巻く77の教え」より転載

人生の「ねじ」を巻く77の教え

ひとつ欠けても、成り立たない。「ねじ」も「会社」も同じです。



人生の「ねじ」を巻く77の教え  
著者 日東精工株式会社 企画室  
発行所 株式会社ポプラ社  
1,000円(税別)で販売中